

令和5年度 卒業生アンケート 報告書 (人間学部)

【調査目的】

卒業生に対して、在学中に身に付けた能力及び資質並びに当該能力等の実社会での有用度等について、就職先等における社会経験に基づき意見を聴取し、本学の教育の効果を検証し今後の教育改善に資するものとする。

【調査方法】

アンケートフォームにて調査を行う。

【調査時期】

2023/6/12～2023/6/30

【調査対象者】

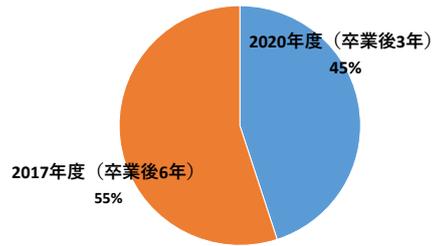
2020年度卒業生(卒後3年)・2017年度卒業生(卒後6年)

【回答率】

2020年度 (卒業後3年)	45%	(24人中9人)
2017年度 (卒業後6年)	55%	(50人中11人)

1. 卒業年度

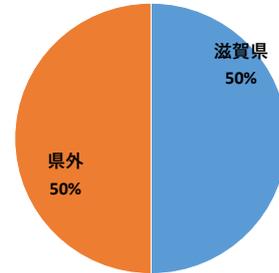
選択肢	回答数	
2020年度（卒業後3年）	9	45%
2017年度（卒業後6年）	11	55%
合計	20	
未回答	0	



2. あなたのお住まいを教えてください

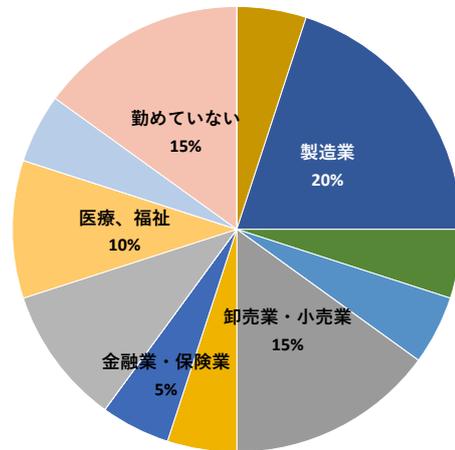
回答	回答数	
滋賀県	10	50%
県外	10	50%
合計	20	
未回答	0	

県外内訳(群馬県、福井県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、福岡県)



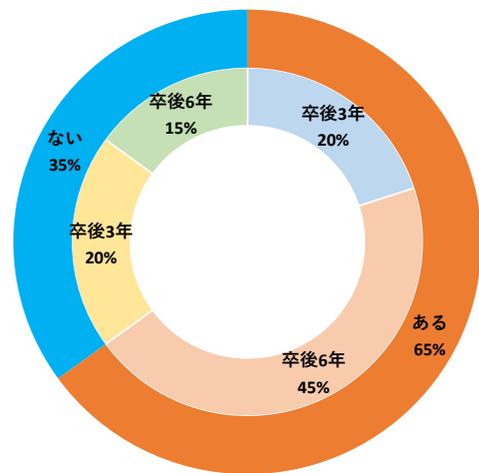
3. 現在お勤めの機関を教えてください。

回答	回答数	
農業・林業	0	0%
漁業	0	0%
鉱業・採石業・砂利採集業	0	0%
建設業	1	5%
製造業	4	20%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	5%
情報通信業	1	5%
運輸業・郵便業	0	0%
卸売業・小売業	3	15%
金融業・保険業	1	5%
不動産業・物品賃貸業	1	5%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0%
宿泊業、飲食サービス業	0	0%
生活関連サービス業、娯楽業	0	0%
教育、学習支援業	2	10%
医療、福祉	2	10%
複合サービス業	0	0%
サービス業（他に分類されないもの）	0	0%
公務（他に分類されているものを除く）	1	5%
勤めていない	3	15%
その他	0	0%
合計	20	
未回答	0	



4. 卒業後、転職または離職をされたことがありますか。

回答	回答数	内訳	
		卒後3年	卒後6年
ある	13	65%	4
ない	7	35%	4
合計	20		
未回答	0		

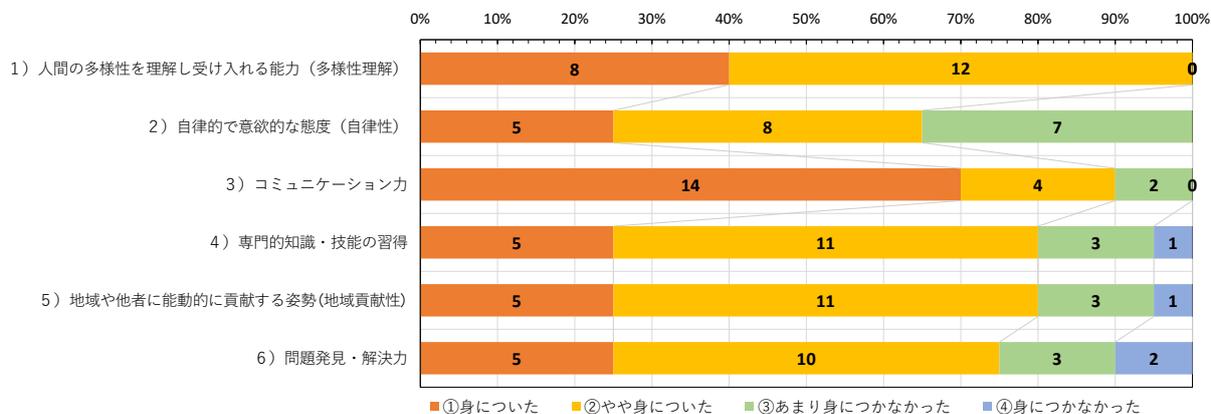


5. 聖泉大学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）において、卒業時までに身につけてほしい能力・資質として以下の1）～6）の6項目を掲げています。

①「卒業時」：卒業時を振り返って、本学でうけた教育による学修成果として、これらの能力・資質がどの程度身につけていたと思われますか。

- ①身についた
- ②やや身についた
- ③あまり身につかなかった
- ④身につかなかった

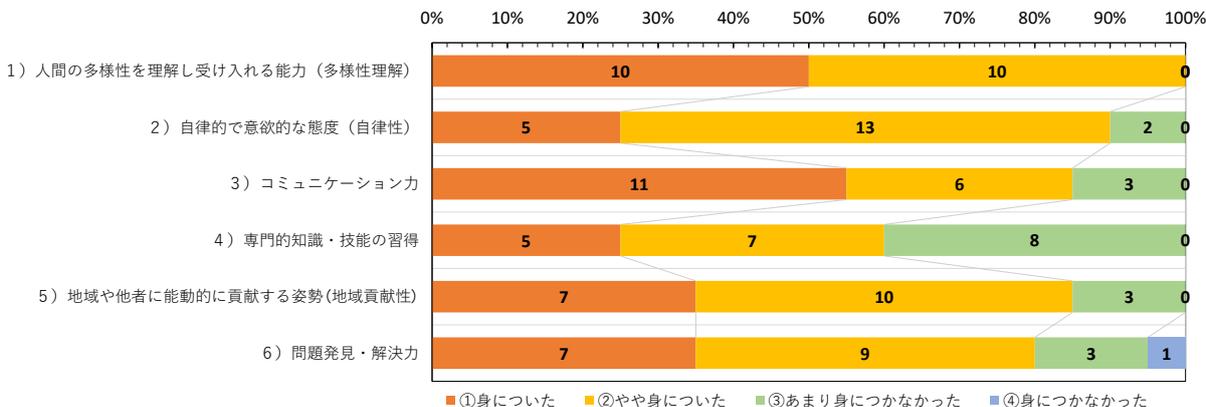
	①		②		③		④		合計	
	回答数	%								
1) 人間の多様性を理解し受け入れる能力（多様性理解）	8	40%	12	60%	0	0%	0	0%	20	100%
2) 自律的で意欲的な態度（自律性）	5	25%	8	40%	7	35%	0	0%	20	100%
3) コミュニケーション力	14	70%	4	20%	2	10%	0	0%	20	100%
4) 専門的知識・技能の習得	5	25%	11	55%	3	15%	1	5%	20	100%
5) 地域や他者に能動的に貢献する姿勢（地域貢献性）	5	25%	11	55%	3	15%	1	5%	20	100%
6) 問題発見・解決力	5	25%	10	50%	3	15%	2	10%	20	100%



②「現在」：卒業後、実社会で積み重ねてこられた経験を通して、これらの学修成果は、現在においてどの程度身につけているとお考えですか。

- ①身についた
- ②やや身についた
- ③あまり身につかなかった
- ④身につかなかった

	①		②		③		④		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1) 人間の多様性を理解し受け入れる能力（多様性理解）	10	50%	10	50%	0	0%	0	0%	20	100%
2) 自律的で意欲的な態度（自律性）	5	25%	13	65%	2	10%	0	0%	20	100%
3) コミュニケーション力	11	55%	6	30%	3	15%	0	0%	20	100%
4) 専門的知識・技能の習得	5	25%	7	35%	8	40%	0	0%	20	100%
5) 地域や他者に能動的に貢献する姿勢（地域貢献性）	7	35%	10	50%	3	15%	0	0%	20	100%
6) 問題発見・解決力	7	35%	9	45%	3	15%	1	5%	20	100%

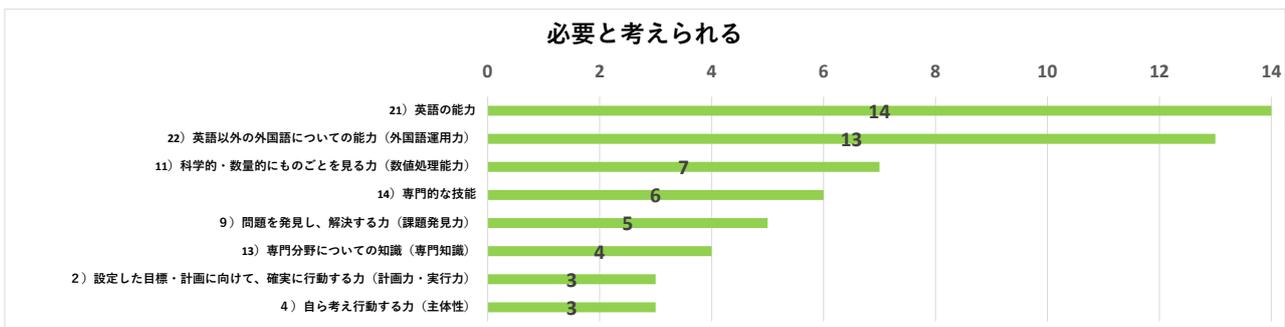
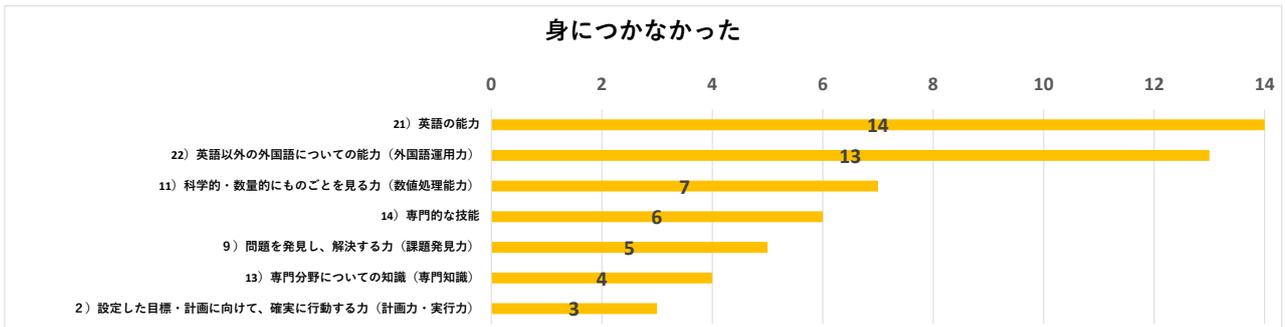
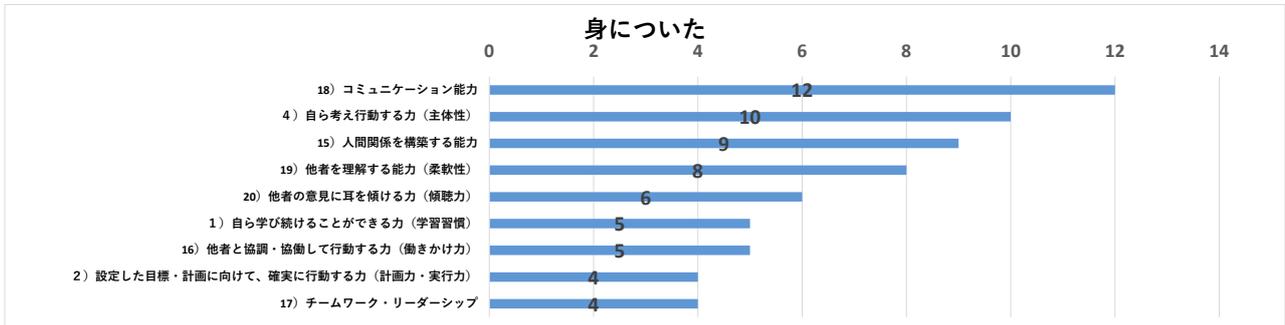


6. 本学で受けた教育のうち、以下の学士力・社会人基礎力についてお伺いします。

- 6-1. 身についたと考えられる項目を5つまで選択してください。
- 6-2. 身につかなかったと考えられる項目を5つまで選択してください。
- 6-3. 実社会における経験に照らして必要と考えられるものについて5つまで選択してください。

質問内容	身についた		身につかなかった		必要と考えられる	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1) 自ら学び続けることができる力 (学習習慣)	5	25%	2	10%	2	10%
2) 設定した目標・計画に向けて、確実に行動する力 (計画力・実行力)	4	20%	3	15%	3	15%
3) ものごとに対して粘り強く取り組む力	0	0%	1	5%	1	5%
4) 自ら考え行動する力 (主体性)	10	50%	3	15%	3	15%
5) 学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力	2	10%	2	10%	2	10%
6) 社会の一員として知識を持ち、社会のために積極的に関与する力	3	15%	0	0%	0	0%
7) 地域社会が直面する問題を理解する力 (社会問題の俯瞰的理解)	3	15%	1	5%	1	5%
8) 多様な情報を収集、分析する力 (統計分析・数値分析)	3	15%	2	10%	2	10%
9) 問題を発見し、解決する力 (課題発見力)	2	10%	5	25%	5	25%
10) 自分の意見をわかりやすく表現する力 (発信力)	3	15%	0	0%	0	0%
11) 科学的・数量的にものごとを見る力 (数値処理能力)	1	5%	7	35%	7	35%
12) 批判的に考える力	2	10%	1	5%	1	5%
13) 専門分野についての知識 (専門知識)	2	10%	4	20%	4	20%
14) 専門的な技能	0	0%	6	30%	6	30%
15) 人間関係を構築する能力	9	45%	1	5%	1	5%
16) 他者と協調・協働して行動する力 (働きかけ力)	5	25%	0	0%	0	0%
17) チームワーク・リーダーシップ	4	20%	1	5%	1	5%
18) コミュニケーション能力	12	60%	0	0%	0	0%
19) 他者を理解する能力 (柔軟性)	8	40%	0	0%	0	0%
20) 他者の意見に耳を傾ける力 (傾聴力)	6	30%	0	0%	0	0%
21) 英語の能力	0	0%	14	70%	14	70%
22) 英語以外の外国語についての能力 (外国語運用力)	0	0%	13	65%	13	65%
23) 一般的な教養 (人文・社会・自然科学についての知識)	1	5%	3	15%	3	15%
24) 社会のルールや規範に従って行動する力 (規律性)	3	15%	0	0%	0	0%

※5つ以上回答した回答者の回答含む



7. 実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたら、ご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

産業カウンセリング
心理学系の講義全般。特に臨床心理学。
人格心理学
ゼミ：ゼミの講義の一環で行ったフリースクール運営の繋がり、今の職に就いているから。
CLCで行った疑似組織。会社のそれと似ていて有意義だったと思います。
なんとと言う授業かは忘れましたが、傾聴力に関してのお話はとても大切だとおもいます。
マーケティング？だったと思います。企業の売る戦略などをレポートにして提出しました。
企業研究の戦略を知ることが出来勉強になりました。
消費者行動論はビジネスの場ではどこでも活用できると思う。
ゼミでの論文作成での活動。自ら議題を決め、情報収集、数値分析、問題解決までの流れはどの仕事にも基になるもので、大学時代に学んべてよかったと思う。
心理学演習？など実際にボランティア活動に参加する授業ではたくさんの学び、気づきがありました。
身をもって体験した事はずっと記憶に残るので有意義でした。
インターンシップ
地理学

8. 今後何らかの形でさらに学ぶとしたら、あなたのキャリア形成として、どのようなことが学びたいですか。

心理学。事務系のスキル。
専門資格を取りたい
児童心理学
人を見極める力
各分野専門的な知識
現在私は水道工事の現場の方々から商品をお金を稼いでいます。キュリアアップのため商品知識を身につけたいです。
IT・WEB関連
人間関係の構築、コミュニケーション能力
会社員としてではなく、個人として働いていけるスキル。個人でお金を稼いでいけるスキル。
例えば、動画編集やコピーライティング、SNS運用代行など
ケアマネとしての、ご利用者やご利用者家族との関わり方。地域との関わり方。
英語
マネジメント系

9. 教育を含め、本学全般にわたって意見等ございましたら、自由にご記入ください。

人間学部で学んだ心理学は、専門的な道に進まないと社会人では使うことがないため、実用的なExcelやWordなどの基本的なパソコン操作を学べる時間が、多くあればよいのではないかと思います。
アットホームでいい環境でした。
人数が少ないことが、距離が近くよかったですが競争心？などが生まれにくかったのかなとも思っています。

令和5年度 卒業生アンケート 報告書 (看護学部)

【調査目的】

卒業生に対して、在学中に身に付けた能力及び資質並びに当該能力等の実社会での有用度等について、就職先等における社会経験に基づき意見を聴取し、本学の教育の効果を検証し今後の教育改善に資するものとする。

【調査方法】

アンケートフォームにて調査を行う。

【調査時期】

2023/6/12～2023/6/30

【調査対象者】

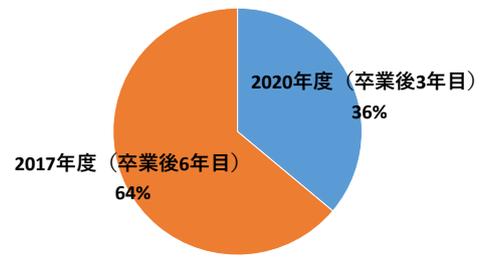
2020年度卒業生(卒後3年)・2017年度卒業生(卒後6年)

【回答率】

2020年度 (卒業後3年)	36%	(67人中13人)
2017年度 (卒業後6年)	64%	(78人中23人)

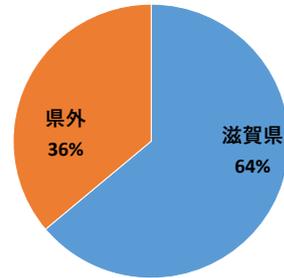
1. 卒業年度

選択肢	回答数	
2020年度（卒業後3年目）	13	36%
2017年度（卒業後6年目）	23	64%
合計	36	
未回答	0	



2. あなたのお住まいを教えてください

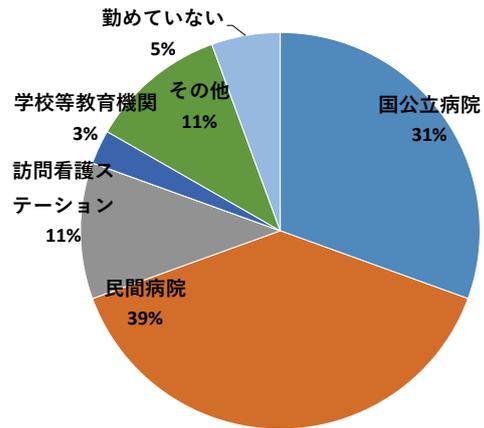
回答	回答数	
滋賀県	23	64%
県外	13	36%
合計	36	
未回答	0	



県外内訳(岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、徳島県、福岡県)

3. 現在お勤めの機関を教えてください。

回答	回答数	
国公立病院	11	31%
民間病院	14	39%
訪問看護ステーション	4	11%
保健所・保健センター	0	0%
学校等教育機関	1	3%
その他	4	11%
勤めていない	2	6%
合計	36	
未回答	0	

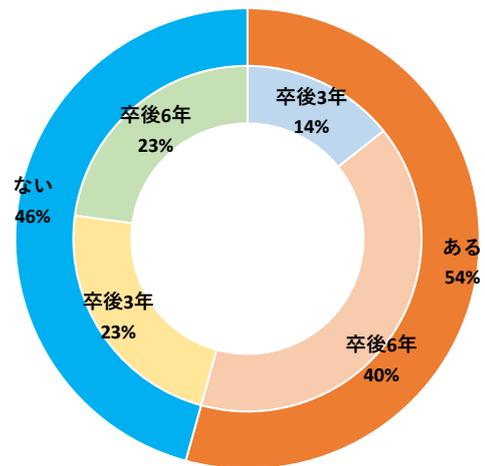


[⑥その他]の詳細

・コールセンター、美容クリニック、JA滋賀厚生連

4. 卒業後、転職または離職をされたことがありますか。

回答	回答数	内訳	
		卒後3年	卒後6年
ある	19	54%	14
ない	16	46%	8
合計	35		
未回答	1		



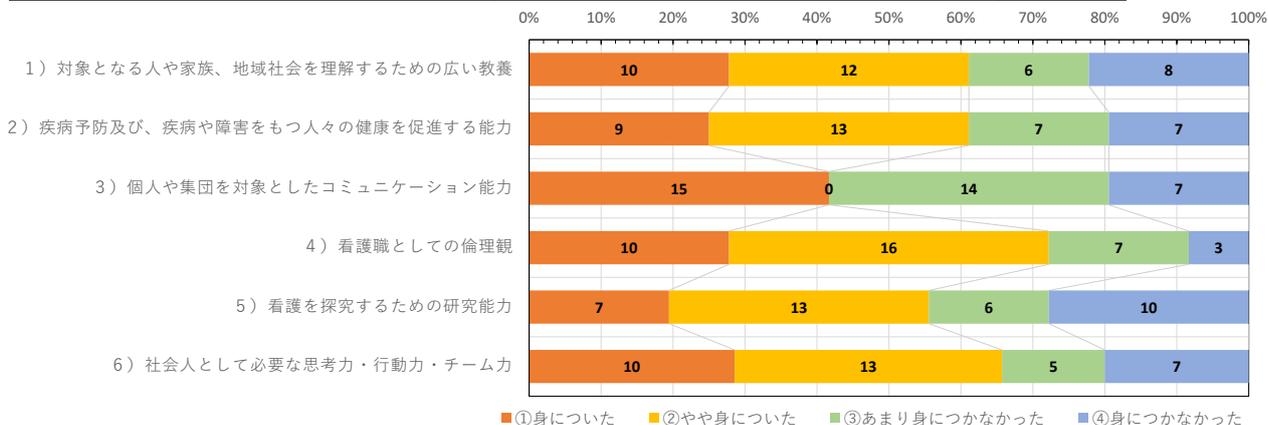
■ あり ■ 卒後3年 ■ 卒後6年
■ ない ■ 卒後3年 ■ 卒後6年

5. 聖泉大学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）において、卒業時までに身につけてほしい能力・資質として以下の1）～6）の6項目を掲げています。

①「卒業時」：卒業時を振り返って、本学でうけた教育による学修成果として、これらの能力・資質がどの程度身についていたと思われますか。

- ①身についた
- ②やや身についた
- ③あまり身につかなかった
- ④身につかなかった

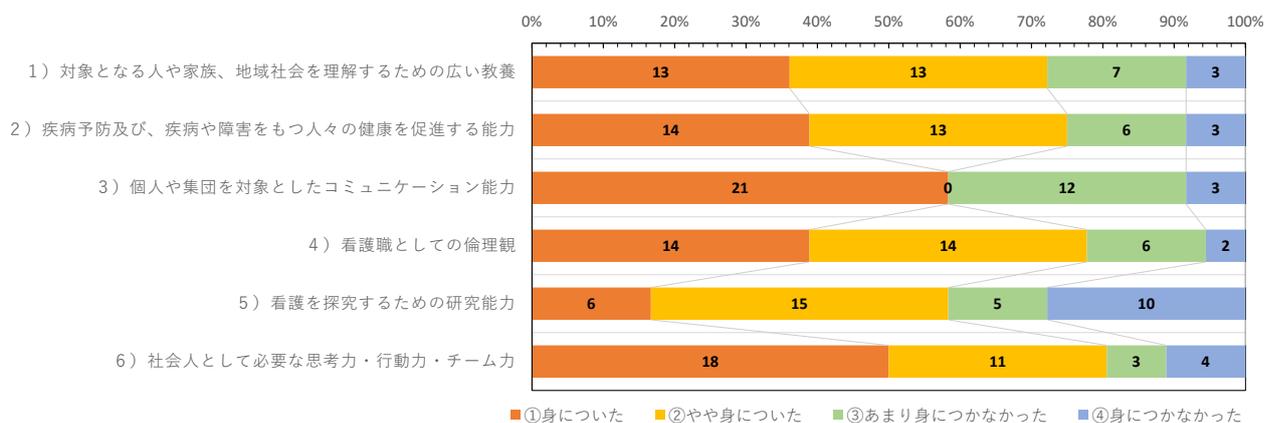
ディプロマ・ポリシー	①		②		③		④		合計	
	回答数	%								
1) 対象となる人や家族、地域社会を理解するための広い教養	10	28%	12	33%	6	17%	8	22%	36	100%
2) 疾病予防及び、疾病や障害をもつ人々の健康を促進する能力	9	25%	13	36%	7	19%	7	19%	36	100%
3) 個人や集団を対象としたコミュニケーション能力	15	42%	0	0%	14	39%	7	19%	36	100%
4) 看護職としての倫理観	10	28%	16	44%	7	19%	3	8%	36	100%
5) 看護を探究するための研究能力	7	19%	13	36%	6	17%	10	28%	36	100%
6) 社会人として必要な思考力・行動力・チーム力	10	29%	13	37%	5	14%	7	20%	35	100%



②「現在」：卒業後、実社会で積み重ねてこられた経験を通して、これらの学修成果は、現在においてどの程度身についているとお考えですか。

- ①身についた
- ②やや身についた
- ③あまり身につかなかった
- ④身につかなかった

ディプロマ・ポリシー	①		②		③		④		合計	
	回答数	%								
1) 対象となる人や家族、地域社会を理解するための広い教養	13	36%	13	36%	7	19%	3	8%	36	100%
2) 疾病予防及び、疾病や障害をもつ人々の健康を促進する能力	14	39%	13	36%	6	17%	3	8%	36	100%
3) 個人や集団を対象としたコミュニケーション能力	21	58%	0	0%	12	33%	3	8%	36	100%
4) 看護職としての倫理観	14	39%	14	39%	6	17%	2	6%	36	100%
5) 看護を探究するための研究能力	6	17%	15	42%	5	14%	10	28%	36	100%
6) 社会人として必要な思考力・行動力・チーム力	18	50%	11	31%	3	8%	4	11%	36	100%



6. 本学で受けた教育のうち、以下の学力・社会人基礎力についてお伺いします。

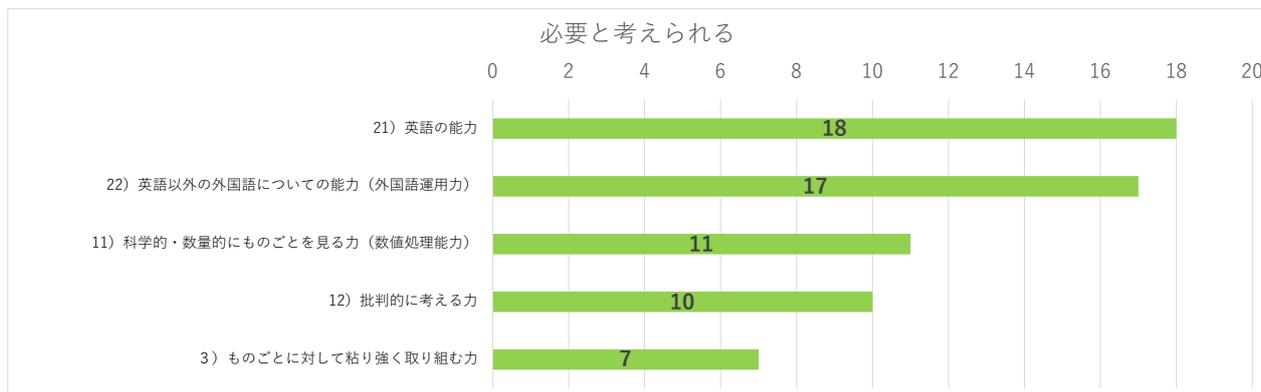
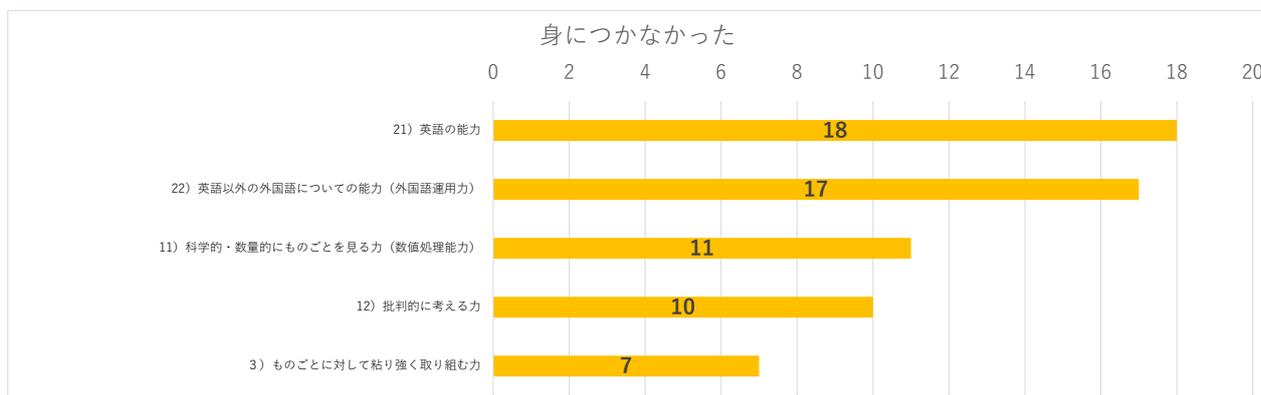
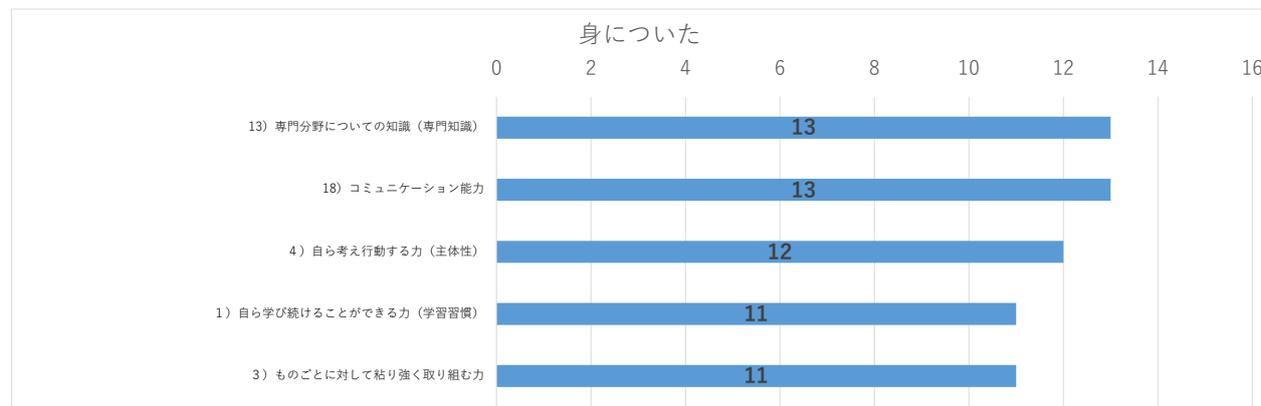
6-1. 身についたと考えられる項目を5つまで選択してください。

6-2. 身につかなかったと考えられる項目を5つまで選択してください。

6-3. 実社会における経験に照らして必要と考えられるものについて5つまで選択してください。

質問内容	身についた		身につかなかった		必要と考えられる	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1) 自ら学び続けることができる力 (学習習慣)	11	31%	3	8%	3	8%
2) 設定した目標・計画に向けて、確実に行動する力 (計画力・実行力)	9	25%	5	14%	5	14%
3) ものごとに対して粘り強く取り組む力	11	31%	7	19%	7	19%
4) 自ら考え行動する力 (主体性)	12	33%	3	8%	3	8%
5) 学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力	8	22%	5	14%	5	14%
6) 社会の一員として知識を持ち、社会のために積極的に関与する力	2	6%	5	14%	5	14%
7) 地域社会が直面する問題を理解する力 (社会問題の俯瞰的理解)	3	8%	6	17%	6	17%
8) 多様な情報を収集、分析する力 (統計分析・数値分析)	7	19%	7	19%	7	19%
9) 問題を発見し、解決する力 (課題発見力)	10	28%	2	6%	2	6%
10) 自分の意見をわかりやすく表現する力 (発信力)	4	11%	7	19%	7	19%
11) 科学的・数量的にものごとを見る力 (数値処理能力)	1	3%	11	31%	11	31%
12) 批判的に考える力	3	8%	10	28%	10	28%
13) 専門分野についての知識 (専門知識)	13	36%	2	6%	2	6%
14) 専門的な技能	9	25%	3	8%	3	8%
15) 人間関係を構築する能力	7	19%	1	3%	1	3%
16) 他者と協調・協働して行動する力 (働きかけ力)	5	14%	0	0%	0	0%
17) チームワーク・リーダーシップ	6	17%	2	6%	2	6%
18) コミュニケーション能力	13	36%	2	6%	2	6%
19) 他者を理解する能力 (柔軟性)	6	17%	0	0%	0	0%
20) 他者の意見に耳を傾ける力 (傾聴力)	7	19%	0	0%	0	0%
21) 英語の能力	0	0%	18	50%	18	50%
22) 英語以外の外国語についての能力 (外国語運用力)	0	0%	17	47%	17	47%
23) 一般的な教養 (人文・社会・自然科学についての知識)	0	0%	7	19%	7	19%
24) 社会のルールや規範に従って行動する力 (規律性)	5	14%	3	8%	3	8%

※5つ以上回答した回答者の回答含む



7. 実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたら、ご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

病院での実習
基礎看護 グループワークで発信することの重要性を培った
実際にドクターが授業してくださった時。教科書だけでなく実際の臨床現場の話でリアルに想像できた。
基礎看護
「この授業」というよりは、先生方の実体験をもとにした知識や情報は分かりやすく、また印象に残っていることが多く、今でも時折思い出すことがあります。
実戦の演習があった事で実際の仕事に活かせるから
成人看護学理論、アセスメント分析がわかりやすく今にも活かせるから
看護学全般の講義どの講義も今となっては有意義なものであったと感じます。
大学の授業で、沢山グループワークがありました。臨床に出て、観察力の他に自分の意見が言える事を褒められる機会が多かったです。振り返れば、どの領域でもグループワークが多かったです。自分の意見を周囲に伝え、周囲の意見を参考にしてチームで物事を多方面から考える力は、大学の4年間で身についたと考えています。
実習
実習
看護技術 現場でも活かせるため
全ての看護実習
基礎看護
保健師実習:地域と医療の繋がりが体験、体感できたから
病棟実習
フィジカルアセスメント

8. 今後何らかの形でさらに学ぶとしたら、あなたのキャリア形成として、どのようなことが学びたいですか。

英語
在宅看護
社会保険制度について
手術看護に今関わっているので、麻酔や手術に関することを学びたいと考えています。
心理学
英語
訪問看護
看護管理
助産師
地域・在宅看護学
患者や対象者だけではなく、その家族が直面している困難や、その支援のあり方について学びたいです。
専門分野
人間の筋肉の動かし方などを学びたい
専門知識
抗加齢医学
現在の専門性を向上させるべく、制度理解から各機関につなげるための連携能力を向上させたい
救急看護
看護管理
トリアージ
地域看護

9. 教育を含め、本学全般にわたって意見等ございましたら、自由にご記入ください。

実際に臨床で働くことと実習の頃もしんどかったがそれ以上にわからないこと（知識面、技術面）がたくさん出てきた。大学時代に技術の練習もたくさんしていれば少しスムーズにできたのでは？と感じた。私の感性かもしれませんが、専門学生がスムーズに技術をこなしていた感じがした。循環器の病棟で働いているが大学で習ってきたこと以上に重症な患者さんやたくさんの疾患を持ち合わせている患者さん（高齢者は特に）がいたりするのでいろんな症例、患者さんがどのような訴えがあるのかでどのような対応をしたらよいか、どんなことが考えられるかなどの学習が必要だと思う。
先生の考え方で言っていることがそれぞれ違って混乱することが多かったですが、実際就職してからもそのような場面に遭遇することは多く、学生時代をよく思い出します。そういう時はどうしたらいいのか助言してもらえると学生時代はやりやすかったと思います。
また、実技演習の時間をもっと増やしてもらえるといいかなと思います。将来が想像しやすいですし、専門学校卒業の人と比べると、経験できている手技が少ないので、実習でさせてもらえることが限られているからこそ、演習の時間で補えたらよかったのかなと思うことがあります。
とにかく先生との距離が近く、わからないことがあれば研究室に質問に行きやすい雰囲気が、とても良かったです。参考書なども充実しており、実習中や国試前に各領域で貸して貰える参考書や図書館で資料が揃うのも、勉強する環境に恵まれていたと思っています。（他の学校に通っていた友人は、実習や国試前の勉強で、参考書を借りるために県の図書館に行ったり本屋さんで参考書を買ったりしていました。
地域包括ケアシステムの各詳細について、就職後に理解しやすいような具体的な例を交えての学習があれば、患者支援においての力になると思われます。）